

AMDAの4人が

ソマリアに救援へ

アフリカの医師も参加

川がはんらんし、洪水に見舞われているソマリア南部で救援活動をするため、AMDA（アジア医師連絡協議会、菅波茂代表）の4人の救援チームが十八日、ケニアを出発して現地に向

かった。日本人二人のほか  
に、アフリカの医師二人が  
初めて救援に参加した。

アフリカから参加したのは  
ウガンダのジョージ・オ  
ケチさん(三八)とアイザック  
・アリドリアエザチさん  
(四〇)。二人は、AMDAが  
国連NGO（非政府組織）  
に認定された一九九五年、  
アフリカ地域十五カ国の駐  
日大使の協力で結成された

「アジア・アフリカ多国籍  
医師団」のメンバー。

ユニセフ（国連児童基  
金）によると、現地では約  
千八百人が死亡、少なくとも  
約二十三万人が避難を強  
いられているという。AM  
DAの救援チームは、ユニ  
セフや現地NGOなどと協  
力し、約三週間、マラリア  
の手当てなどの医療活動や  
調査にあたる。